

【 診療科:血液内科 】
【 レジメン登録番号:IG-110 】

〈 Pola-BR療法 〉

【1コース目】

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)																		
			1	2	3															21	
トレアキシシ	90mg/㎡	div		○	○																
ポライビー	1.8mg/kg	div		○																	
リツキシマブBS	375mg/㎡	div	○																		

【1コース期間:21日】 【総コース数: 6コース 】

【適応癌種:びまん性大細胞型リンパ腫(再発・難治性)】

【時期: 術前 、 術後 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

【1コース目】

【第1日目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ソル・コーテフ100mg	iv ワンシヨット (リツキシマブ投与30分前)
Rp.2	リツキシマブBS 375mg/m ² ^{備考1} 生理食塩液 500mL	div (25～200mL/h 2～3時間かけて)

【第2日目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB 生理食塩液 50mL	div(全開で)
Rp.2	トレアキシシ 90mg/m ² 生理食塩液 250mL	div(1時間かけて)
Rp.3	ソル・コーテフ100mg	iv ワンシヨット
Rp.4	生理食塩液 50mL	div(30分で)
Rp.5	ポライビー 1.8mg/kg 注射用水 20mL ^{備考2} 生理食塩液 100mL ^{備考3}	div(90分かけて)

【第3日目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB 生理食塩液 50mL	div(全開で)
Rp.2	トレアキシシ 90mg/m ² 生理食塩液 250mL	div(1時間かけて)

【2コース目以降】

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)																
			1	2	3		21												
トレアキシシ	90mg/㎡	div	○	○															
ポライビー	1.8mg/kg	div		○															
リツキシマブBS	375mg/㎡	div	○																

【2コース目以降】

【第1日目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB 生理食塩液 50mL	div(全開で)
Rp.2	トレアキシシ 90mg/m ² 生理食塩液 250mL	div(1時間かけて)
Rp.3	ソル・コーテフ100mg	iv ワンシヨット
Rp.4	生理食塩液 50mL	div(30分で)
Rp.5	リツキシマブBS 375mg/m ² ^{備考1} 生理食塩液 500mL	div (25～200mL/h 2～3時間かけて)

【第2日目】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	5-HT ₃ RB 生理食塩液 50mL	div(全開で)
Rp.2	トレアキシシ 90mg/m ² 生理食塩液 250mL	div(1時間かけて)
Rp.3	ソル・コーテフ100mg	iv ワンシヨット
Rp.4	生理食塩液 50mL	div(30分で)
Rp.5	ポライビー 1.8mg/kg 注射用水 20mL ^{備考2} 生理食塩液 100mL ^{備考3}	div(90分かけて、忍容性 あれば30分に短縮可)

【参考文献: J Clin Oncol 2019;38:155-165、ポライビー点滴静注用添付文書 】

【備考1: 生食の量を調節し、概ね10倍希釈となるようにする。 】

【備考2: 30mg製剤は注射用水1.8mLで、140mg製剤は注射用水7.2mLで溶解。】

【備考3: 希釈後の濃度は0.72～2.70mg/mLになるよう調製する。インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を用いて投与すること。】

【備考: リツキシマブBS、ポライビー投与の30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行うこと。G-CSF製剤の予防投与が推奨されている。 】